

# 自然災害伝承碑 利活用事例①

利活用事例はこちらのページで紹介しています⇒[https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi\\_utilization.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_utilization.html)

## 岩手県の東日本大震災津波伝承館における紹介

岩手県にある東日本大震災津波伝承館の企画展「碑文が語る三陸の地震津波」において、三陸地域に点在する自然災害伝承碑が紹介された。（展示期間は、令和4年6月18日（土）～7月18日（月・祝））

東日本大震災津波伝承館  
令和4年度第1回企画展示

# 碑文が語る 三陸の 地震津波

期間/令和4年6月18日（土）～7月18日（月・祝）  
時間/9時～18時  
場所/東日本大震災津波伝承館ゾーン4（道の駅南・地域情報スペース）  
主催/東日本大震災津波伝承館 協力/岩手日報社 | BC岩手放送

【お問い合わせ】東日本大震災津波伝承館 / 【電話】0192-47-4455

企画展示「碑文が語る三陸の地震津波」

## 岩手県釜石市の釜石市郷土資料館における紹介

岩手県にある釜石市郷土資料館の企画展「津波記念碑」において、津波に関する自然災害伝承碑が紹介された。（展示期間は、令和4年3月3日（木）～令和4年5月8日（日））

令和3年度 釜石市郷土資料館企画展 第5弾

# 津波 記念碑

～石に刻まれた先人の声～

津波記念碑とは自然災害伝承碑のひとつです。これは大規模な自然災害の状況や教訓を後世に伝え残すために作られた災害碑、慰霊碑、記念碑などと呼ばれるものです。碑には過去に起きた津波の様子や、被害の状況が記されています。その多くは被災した現地にあり、津波の到達地点を示しているものも少なくありません。津波を体験した先人が、子孫の防災意識を高め、教訓を減災に役立てることを期待して建立しました。

**唐丹町本郷の海壇遺跡記念之碑**  
明治29年6月15日の津波で亡くなった人を供養する為、明治の津波から33回忌にあたる昭和3年に有志によって建立されたものです。津波の記録と、後世の人への悲愴、亡くなった人への慰霊の言葉が刻記されていますが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により碑文の部分が破損しました。令和2年度に修復が完了しましたが、破損部分はそのままとし、東日本大震災を伝える震災遺構となっています。

**二石町の津波記念碑**  
中央と右側の碑は明治29年の津波の碑で、中央は南部庭園茶屋の藩士南部利徳による書で、右側は『両石海壇記念碑』として津波の悲愴さを漢文で記述しています。左側の碑は昭和8年の津波の碑で、当時の県知事黒英彦の書による「大地震の後に津波が来る」と刻まれています。

◆平成23年3月11日 東日本大震災後に建立された碑◆

唐丹町本郷の津波記念碑

唐丹町本郷の慰霊碑

唐丹町本郷の津波記念碑

開催期 令和4年3月3日～5月8日

■入館料 小学生以下無料、中学生以上500円  
■火曜休館  
■開館時間 午前9時～午後5時  
■電話/FAX 0229-0031

企画展示「津波記念碑」

## 新潟市歴史博物館による博物館ニュースにおける紹介

新潟県にある新潟市歴史博物館による博物館ニュースでは、新潟市内の自然災害伝承碑が紹介されている。自然災害伝承碑は、身近な災害を意識するアプローチの一つになると、紹介されている。

### 歴史さんぽ

## みちびきの像

中央区一番堀通町

新潟県民会館の北口に子供たちの彫刻があります。一見にぎやかに駆け出す姿にも見えますが、これは昭和39(1964)年新潟地震時に避難する小学生たちとそれを誘導する教師をあらわしています。地震から3年後の昭和42(1967)年、「開港記念100年・震災復興記念新潟大博覧会」が松波町海浜(現西海岸公園市営プール周辺)にて開催され、震災時の小中学校の記録「大地震くるも子らを放さじ」(新潟市教育委員会、1964年刊)から題材をとった石像像が展示されました。博覧会事務局が、新潟市の画家・デザイナーである金井二郎(1931～2018)に依頼したものです。博覧会終了後同年11月、新潟地震の復興を記念し、県民の教育・文化の発展と県民生活の向上に寄与する施設として新潟県民会館が開館。そこに、同じ題材のセメント彫刻が「みちびきの像」として新たに建造されました。制作者は彫刻家の早川亜美(1912～80)、昭和38年新潟国体の火壇土器型聖火台(現新潟市陸上競技場所在)や翌年赤塚中学校の白鳥像「飛翔」なども制作しています。台座は新潟青年会議所が寄贈したもので、「地震当時をしのびそのさなかに具現された師弟間の愛情の交流の美しさを後の世まで伝えよ」とするものである」と刻まれています。

2019年、国土地理院は13年ぶりに新しい地図記号を導入しました。「自然災害伝承碑」です。「過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害に係る事柄(災害の様相や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメント」と定められ、それらの碑を「地図を通じて伝えることは、地域住民による防災意識の向上に役立つ」としています。10年前の2011年東日本大震災の被災地では、過去の被災場所や津波の高さが示され、警句が刻まれるなどした石碑の存在が見直されました。

新潟市の自然災害伝承碑は現時点で6基。そのうちのひとつが「みちびきの像」です。自然災害伝承碑は、全国的にも形態が多岐にわたっているようで、それぞれの経緯でその場所に存在する野外建造物を地域の「災害を伝えるもの」という観点で改めて分類化する試みといえるでしょう。それらは災害史のわずかな一部ですが、身近な災害を意識するアプローチの一つになると思います。ほかの碑については、国土地理院のウェブサイトにてご確認ください。

中村 里那(なかむら さとな 学芸員)

地図記号 自然災害伝承碑

博物館ニュース「帆樫成林(はんしょうせいりん)」(vol.52-2021年4月) P5より

## 熊本県の天草市立本渡歴史民俗資料館における紹介

熊本県にある天草市立本渡歴史民俗資料館の企画展「歴史資料でみる天草の災害展」において、先人の遺した災害教訓を受け継ぎ、重要な役割を果たすものとして自然災害伝承碑が紹介された。(展示期間は、令和5年1月28日(土)～令和5年3月19日(日))

## 国土地理院地図記号「自然災害伝承碑」の創設

国土地理院では、令和元年度(2019年度)から自然災害伝承碑の地図記号を制定しました。

きっかけは、平成30年(2018年)雨災害。この災害で甚大な被害を受けた浦地区では明治40年の土砂災害をてられていたものの、関心が薄れ、教訓として十分に伝承されていなかった。過去の災害から学び、先人たちのけ継ぐことが防災、減災にも重要な。何より、その土地の歴史、遺されたものが重要です。文化財を現代の私たちが、好例と言えるのではないでしょ。天草では、令和4年度に国土地理部の協力を受けて、上天草市・天草自然災害伝承碑登録に取り組んで



**「自然災害伝承碑」とは?**

- 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の様相や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメント。
- これらには、歴史的地名(過去の地名や人の集まりを記した地名や地名)に記載されています。
- これら自然災害伝承碑は、地域の歴史を伝える役割、同時に防災意識を醸成されていることが多く、それらを通じて伝えることは、地域防災による防災意識の向上に役立つと考えられます。

自然災害伝承碑  
石碑(天草市)

天草市

(参考) 記念碑の例

今後は、新たに新設した地図記号「自然災害伝承碑」を地図に掲載し、市民の防災意識の向上に貢献することを期待します。

| 九州管内における自然災害伝承碑の登録・公開数 (2023年1月時点) |     |     |     |      |     |      |      |
|------------------------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|------|
| 県名                                 | 公開数 | 県名  | 公開数 | 県名   | 公開数 | 県名   | 公開数  |
| 福岡県                                | 16基 | 佐賀県 | 19基 | 長崎県  | 27基 | 熊本県  | 15基  |
| 大分県                                | 14基 | 宮崎県 | 12基 | 鹿児島県 | 22基 | 管内総数 | 125基 |

  

| 現在登録されている、熊本県内の自然災害伝承碑一覧 (2023年1月時点) |             |                 |                           |  |
|--------------------------------------|-------------|-----------------|---------------------------|--|
| 碑名                                   | 建立年         | 所在地             | 災害名                       |  |
| 津波伝承碑                                | 不明          | 熊本県天草市浦地区内      | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 震災之碑                                 | 2005 [平成17] | 熊本県天草市浦地区       | 平成16年九州全域津 (2005年9月26日)   |  |
| 新念碑                                  | 2005 [平成17] | 熊本県天草市浦地区       | 平成16年九州全域津 (2005年9月26日)   |  |
| 崎千人供養塔                               | 1792 [寛政4]  | 熊本県天草市浦地区       | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 銘鐘流石供養塔                              | 1837 [天保8]  | 熊本県天草市浦地区       | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 津波石の跡                                | 1792 [寛政4]  | 熊本県天草市浦地区       | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 津波石の跡                                | 1792 [寛政4]  | 熊本県天草市浦地区       | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 供養塔                                  | 1793 [寛政5]  | 平土市町内           | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 水害伝承の碑                               | 1981 [昭和56] | 熊本県天草市浦地区(浦地区内) | 昭和56年7月豪雨 (1972年7月5日)     |  |
| 水害慰霊碑                                | 1974 [昭和49] | 熊本県天草市浦地区(浦地区内) | 昭和56年7月豪雨 (1972年7月5日)     |  |
| 古墳改築の碑                               | 1938 [昭和14] | 熊本県天草市浦地区       | 岡山県津 (1972年4月21日)         |  |
| 数珠屋(すずけ)の跡の碑                         | 2020 [令和2]  | 熊本県天草市浦地区       | 平成26年九州全域津 (2014年4月16日)   |  |
| 防災防害記念の碑                             | 不明          | 上益城郡豊後市大字上益     | 洪水 (1796年7月16日、1864年4月1日) |  |
| 高田藩災害復旧記念碑                           | 1982 [昭和57] | 上益城郡豊後市大字上益     | 昭和57年7月豪雨 (1982年7月16日)    |  |
| 災害復興記念碑                              | 1995 [平成7]  | 福岡県大牟田市津手       | 洪水・土砂災害 (1993年9月17日)      |  |

※国土地理院が掲載された情報に基づき一部引用し、天草市が作成しています。

企画展示「歴史資料でみる天草の災害展」



## 神奈川県 箱根町

自然災害伝承碑を防災ガイドブックにおいて紹介することで、町内で起きた自然災害を風化させず後世に語り継ぐとともに、他にも自然災害伝承碑に該当する碑があれば情報提供を呼びかけている。



### 石碑から災害を学ぶ!自然災害伝承碑の取組

#### 「自然災害伝承碑」とは

過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の様相や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメント。これら自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、当時の被災場所に建てられていることが多く、それらを地図を通じて伝えることは、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。

箱根町内でも、大正12年の関東大震災、昭和5年の北伊豆地震、昭和23年のアイオン台風、昭和28年の早雲山の地すべり等の災害に見舞われ、犠牲者も発生しました。

箱根町内で起きた自然災害を風化させず後世に語り継ぎ、今後の災害に備えるため、箱根ジオパーク活動の一環として取り組んでおり、令和3年9月時点で10基の石碑が国土地理院のウェブ地図「地理院地図」で公開されています。

皆さんの身の回りにこのような石碑等がありましたら、情報の提供をお願いします。

【情報提供先】  
箱根ジオパーク推進協議会事務局  
(企画課☎85-9560)



自然災害伝承碑HP



昭和5年に発生した北伊豆地震の石碑(写真)



自然災害伝承碑の地図記号(右)とウェブ地図「地理院地図」表示用のアイコン(左)。(国土地理院提供)

## 滋賀県 大津市

自然災害伝承碑が大津市防災ポータルにおいて紹介されている。当時の被災状況を知り、過去の災害から防災についてあらためて考えることで防災意識の向上につながるものと期待されている。

「はこね防災ガイドブック」より

「大津市防災ポータル」より